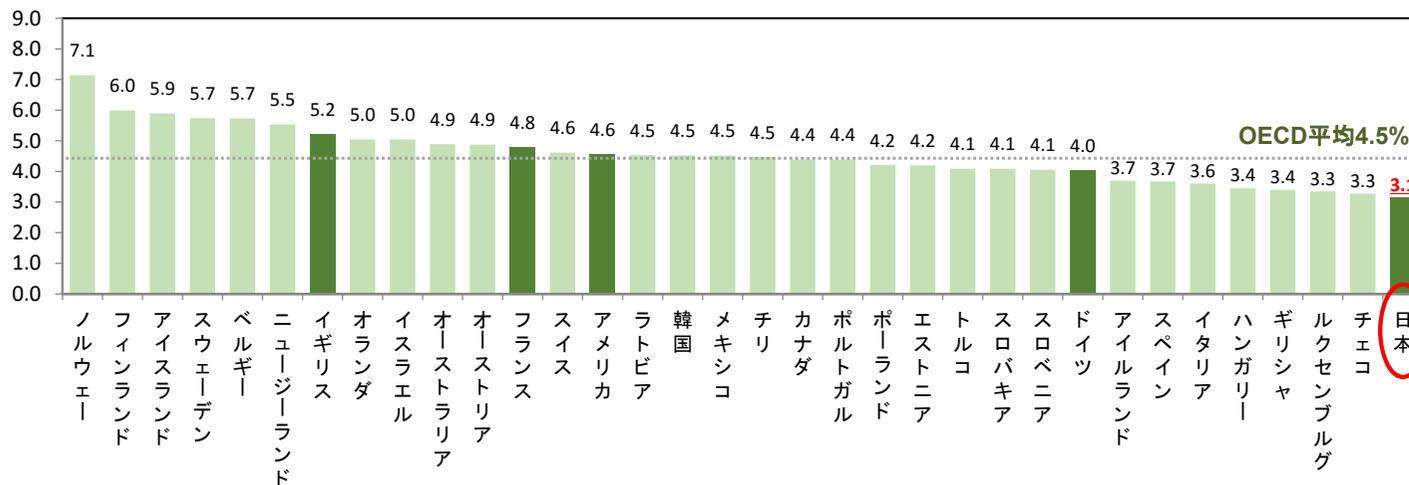


公財政支出の規模は、子どもの数を考慮する必要

- 日本の公財政教育支出の対GDP比は、OECD諸国の中で低いとの指摘がある。
- しかしながら、日本の子供の割合もOECD諸国の中で低い。

公財政教育支出対GDP(初等・中等・高等教育段階、対教育機関)(2015年)

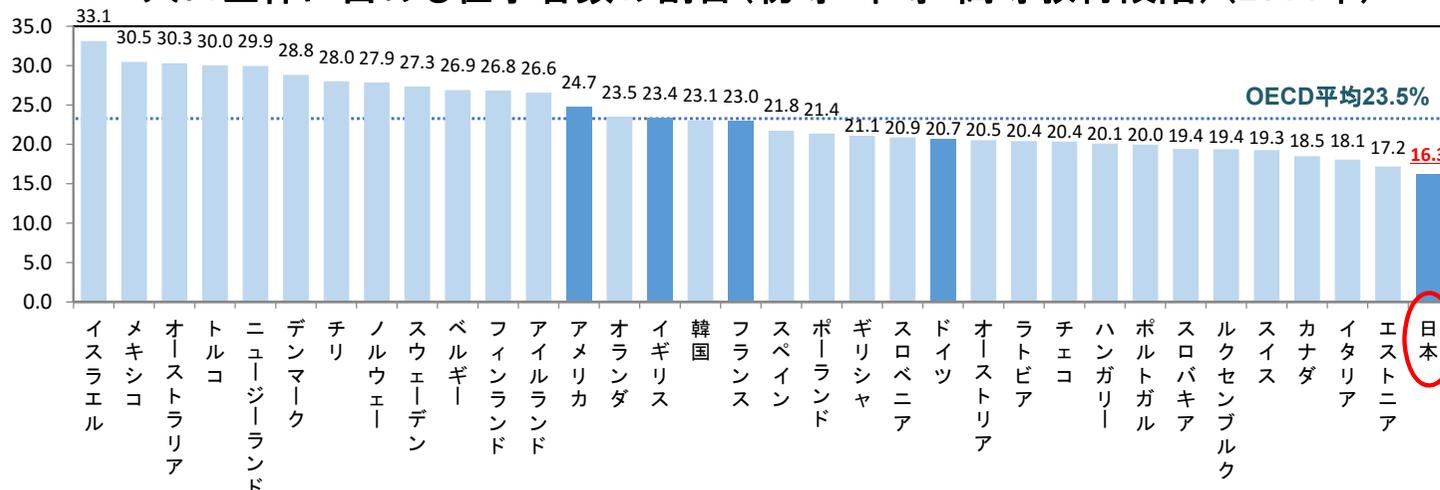


公財政教育支出GDP比

日本 3.1%
OECD平均 4.5%

7割

人口全体に占める在学者数の割合(初等・中等・高等教育段階)(2014年)



在学者／総人口

日本 16.3%
OECD平均 23.5%

7割

(注) OECD平均の値は、計数が取れず算出不能である国を除いた加盟国の平均値。
(出典) OECD「Education at a Glance 2016」、「Education at a Glance 2018」

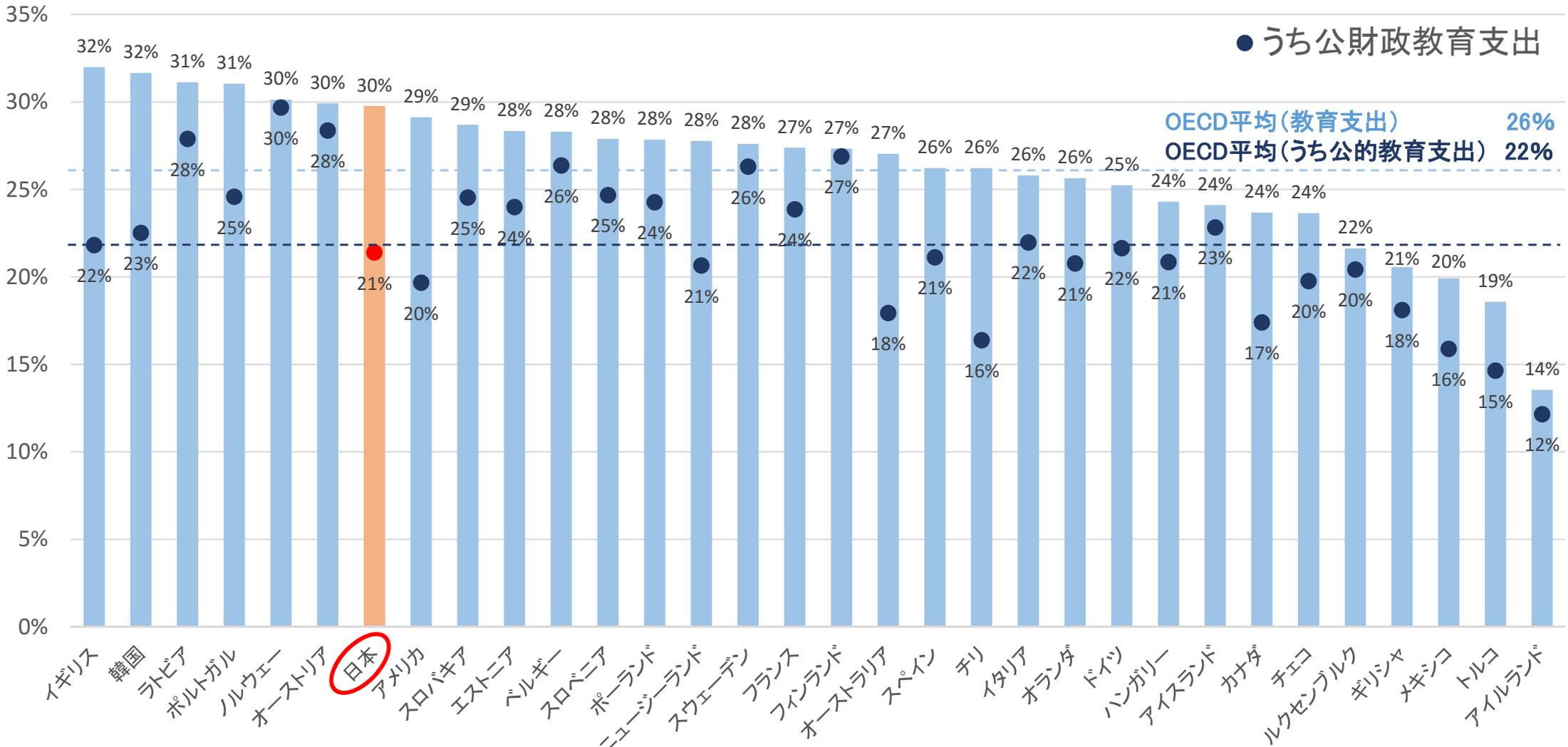
「一人当たり」の教育支出は国際的に見て遜色ない水準

○ 教育は子供一人ひとりに施すものであるという観点から、一人当たりで見れば、OECD諸国と比べて、教育支出全体は高い水準にあり、公財政支出に限っても遜色ない水準。

「在学者一人当たり」教育支出の対一人当たりGDP比(2015年)

■ 教育支出

● うち公財政教育支出



(注1) 教育支出は全サービスに対する支出を指し、公的支出は教育支出に「教育機関に対する最終支出の公費負担割合」を乗じて算出。
(注2) OECD平均の値は、計数が取れず算出不能である国を除いた加盟国の平均値。
(出典) OECD「Education at a Glance 2018」